

科目名 Course Name	社会学と社会システム Sociology and Social Systems			ナンバリング No.	I1-005		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊 信成						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 3F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>人間科学の一つとして、社会学の基礎的知識を修得する。そのために基礎的な社会学説を取り上げ、歴史的な社会学の理解を深める。その上で現代社会や社会問題の特質、人と社会の関係性、生活の特徴等について学ぶ。</p> <p>① 社会理論による現代社会の捉え方を説明できるようにする。 ② 生活について説明できるようにする。 ③ 人と社会の関係について説明できるようにする。 ④ 社会問題について説明できるようにする。</p>						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	現代社会を捉え、現代社会を論じることができ、人々の様々な生活について説明できる。					
	L03	人と社会の関係について明確に述べる事ができ、現代社会における様々な社会病理現象について列挙できる					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	『社会学と社会システム』弘文堂 他 授業中に指示し、資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。社会福祉主事任用資格に係る科目である。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	
その他					
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の進め方、留意事項、成績評価等) 社会学の視点 社会学の歴史と対象
	事前・事後学習	社会学の発展と対象についてノートにまとめておくこと。
2	授業内容	社会構造と変動① 社会システム
	事前・事後学習	社会システムについて調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
3	授業内容	社会構造と変動② 組織と集団
	事前・事後学習	組織と集団について調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
4	授業内容	社会構造と変動③ 人口
	事前・事後学習	人口について調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
5	授業内容	社会構造と変動④ グローバリゼーション
	事前・事後学習	グローバリゼーションについて調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
6	授業内容	社会構造と変動⑤ 社会変動
	事前・事後学習	社会変動についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
7	授業内容	社会変動と構造⑥ 地域 レポート「集団とは」提出は第8回の授業日
	事前・事後学習	地域、コミュニティについて調べておくこと。レポートを作成すること。
8	授業内容	社会変動と構造⑦ 環境
	事前・事後学習	環境について調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
9	授業内容	市民社会と公共性① 社会的格差、福祉政策と社会問題、
	事前・事後学習	社会的格差、福祉政策と社会問題について調べておくこと。
10	授業内容	市民社会と公共性② 差別と偏見 災害と復興
	事前・事後学習	差別と偏見 災害と復興についてテキストを参照にしてまとめておくこと。
11	授業内容	生活と人生① 家族とジェンダー、健康
	事前・事後学習	家族とジェンダー、健康についてテキストを参照にしてまとめておくこと。
12	授業内容	生活と人生② 労働 世代
	事前・事後学習	労働と世代について調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
13	授業内容	自己と他者① 自己と他者とは 社会化とは
	事前・事後学習	自己と他者、社会化についてまとめておくこと。
14	授業内容	自己と他者② 相互行為
	事前・事後学習	相互行為についてまとめておくこと。
15	授業内容	社会問題と社会学 ～現代社会の在り方について考える～
	事前・事後学習	現代社会のあり方について自己の意見をまとめておくこと。試験対策を行うこと。